



記念賞

今村 寿鴻

伝統ある中部日本書道会の創立九十周年記念という節目に記念賞を拝受し、喜びと同時に指示して頂いた諸先生方、ならびに我が師匠に深く感謝申し上げる次第でございます。振り返ってみますと、小学三年生に筆を持ち、二十二歳まで御指導を頂いた先代師匠(現師匠のお父上様)の恩、そして九成宮體泉銘蘭亭序、書譜、自叙帖など臨書した学生時代の合宿が懐かしく思い出されます。その後、三十数年間書を離れ、婦人服店の経営に努め、そして終止符を打ち、第二の人生を書の道に舞い戻ること致しました。それから十三年現師匠のご指導を仰ぎながら数々の賞を頂戴しました。改めて感謝すると共に、今後は師匠流の運筆方法から醸し出される線の強さ、深み、奥行、行の立体表現、懐の大きな字形、川の流れのような文字構成、そこから生じる余白の美しさなど、これからもご指導いただき、自己研鑽に努めて参りたいと思うところでございます。



記念賞

大嶋由美子

この度、第七十三回中日書道展におきまして、栄えある記念賞を賜り誠にありがとうございます。これもひとえに御指導いただいております師匠はじめ諸先生方の温かい御厚情と、書友や家族の支えがあったからこそ、心より感謝致しております。今回の作品は、源実朝の家集である金槐和歌集より二十七首の歌を、十二枚の帖に散らしました。墨色や空間、文字の大きさ等で変化をつけ、全体の流れや奥行き等単調にならない様意識して仕上げたつもりでしたが、改めて作品を見ますと、まだまだ未熟で仮名の奥深さを痛感しております。今後は、古筆の臨書を続けていくと共に、尚一層の精進を重ねて参る所存でございます。今後とも何卒御指導御鞭撻の程よろしく御願い申し上げます。



準大賞

辻裏 友規

この度は、準大賞という身に余る賞をいただき、誠にありがとうございます。これも偏に、先生や先輩方の温かいご指導のお陰と、深く御礼申し上げます。子どもが生まれたことで、書に取り組み時間が十分に確保できず、とにかく辞めずに継続することが第一になっていました。そんな中でいつの受賞の知らせに、驚きと喜びの気持ちでいっぱいでした。書道教室に通い始め、三十年余りが経ちました。何度も環境や生活が変わりましたが、多くの方に支えられて、ここまで続けることができています。書道に、そして素晴らしい先生に、出会わせてくれた両親と応援してくださる皆様に改めて感謝いたします。今後は一枚一枚、丁寧に作品と向き合いながら、自分のペースで技術を磨き、知識を深めていきたいと思っております。まだまだ未熟で、勉強不足ですが、この賞に恥じぬよう、より一層努力を重ねてまいりますので、今後とも、ご指導の程よろしく御願いいたします。



準大賞

菱田 萬峰

この度は準大賞という栄誉ある賞をいただきまして、まことにありがとうございます。受賞の知らせをいただいた時には、思いもよらぬことにとても驚きました。師匠をはじめ諸先生方のご指導あつてのことと感謝致しております。去る六月の表彰式、祝賀懇親会は、記念展ということもあり、とても多くの方々がおみえになり盛大なものでした。この機会に賞をいただいたことは本当に幸運なことと、鯨鋒の輝く立派なメダルも頂戴し、特別なひとときを過ごさせていただきました。こうして受賞の喜びをつづりながら思いますのは、嬉しさとともに、数多くの作品が集まる中から選抜いただいたことに改めて身の引き締まる気持ちです。今後とも一層精進していきたいと思っております。ありがとうございます。



準大賞

松居 光子

この度は、伝統ある中日書道展におきまして、準大賞を賜り、誠にありがとうございます。これも偏に、日頃ご指導いただいております師匠はじめ諸先生方のお蔭と感謝の気持ちで一杯です。私などにはとても手の届かない雲の上のものだと思っておりましたので、今回の受賞は上達の儘ならぬ私が、ギブアップすることなく長年続けてきたことへの褒美だと受け止めております。年齢を重ねるにつれて疲れやすくなり、生活のリズムが若い頃とは違ってきて、思うように書に向かう時間がとれなくなつてまいりましたが、奥の深い書の道、焦らずゆっくりと自分のペースで学んでいきたいと思っております。今後共、ご指導ご鞭撻いただきますようお願い申し上げます。



準大賞

松田 典子

この度、第七十三回中日書道展におきまして、栄えある準大賞を賜り、身に余る光栄に存じます。これも偏に長年ご指導下さいました師匠をはじめ、諸先生方、書友の方々のお蔭と心より感謝申し上げます。今回の作品は、「三十六歌仙」を題材にし、優美なかな文字で連綿の美しさを表現したいと心がけながら書きました。しかしなかなか思うように書くことが出来ず、力不足を痛感いたしました。この受賞を励みに、今後とも古筆をもっと勉強し、自分の作品に生かせるよう精進して参りたいと思っております。何卒今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしく御願い申し上げます。

第73回中日書道展入賞者

記念賞	今村 寿鴻 (漢字)
記念賞	大嶋 由美子 (かな)
準大賞	辻裏 友規 (近代詩文)
準大賞	菱田 萬峰 (漢字)
準大賞	松居 光子 (かな)
準大賞	松田 典子 (かな)
準大賞	森 富華 (漢字)
準大賞	森 芳彩 (漢字)
準大賞	宇佐美 吉恵 (漢字)
桜花賞	佐藤 桃華 (漢字)
桜花賞	野 嘉子 (かな)
特選	福山 仁雅 (漢字)
準特選	岩本 麗泉 (漢字)
準特選	鶴 瑞加 (篆刻・刻字)
準特選	梅山 奈加 (かな)
準特選	小林 伶奈 (漢字)
準特選	寺本 九齋 (篆刻・刻字)
準特選	豊田 恵子 (かな)
準特選	本村 葦雀 (篆刻・刻字)
準特選	山口 和子 (かな)

令和7・8年度支部委員の役務(案)

常任顧問	加藤子華
本部理事	山本雅月
支部顧問	谷 泉石
支部参与	佐藤桑碩
支部長	荒木友梅
支部次長	高橋華堂
庶務	平野公鶴
経理	藤堂弘風
会報	菱田萬峰
広報	今村寿鴻
講習会	渡邊香蘭
研修会	荒木敬子
講演会	森 芳彩
展覧会	花井高峰
展覧会	真田九龍
展覧会	大嶋由美子
展覧会	渡邊香蘭
展覧会	水谷三兆